



桜っ子の活躍のお知らせが、続々届きます

福島県読書感想文コンクールに姉弟そろって、好成績！

N.H. さん(姉)が、市の審査で「特選」、県審査で「特選」

N.S. 君(弟)が、市の審査で「特選」、県審査で「準特選」



平成25年度第59回青少年読書感想文全国コンクール福島県審査会及び郡山地区審査会において、4年N.H.さんと1年N.S.君(写真右)の作品が、見出しに書いたように、

素晴らしい成績となりました。郡山市審査で2人そろって「特選」、県審査で「特選」「準特選」という見事な結果でした。N.H.さんは「友達との関わり」、N.S.君は「みんなちがってもいい」という題で作品を書き上げました。おめでとうございます。

コンピュータグラフィックス展で、6年 I.Y.さんの作品が準賞に！

郡山市ふれあい科学館が募集した、第13回コンピュータグラフィックス展で、6年 I.Y.さんの出品した作品が、静止画部門において準賞となりました。この作品展には150点を超える作品が集まり、その中で、高い評価を得たものです。

今年は、「未来の宇宙」をテーマに作品が集められましたが、I.Y.さんは「未来の時代連鎖」という題で作品を作りました。中学生や高校生の作品とも肩を並べるような、素晴らしいデザインと構図の作品でした。おめでとうございます。



今回も、カラー版でお届けします

桜小児童が「語り部」として、美しい日本語表現コンテストに出場！！ 地域に伝わるお話を、方言も交えて、見事に表現



10月30日に、郡山市民文化センターにおいて、「美しい日本語表現コンテスト」が開かれました。主な参加者は各中学校からの代表の生徒でしたが、小学生も5校招待され、その中の1校として、桜小も発表してきました。今回発表したのは、地域で「子ども語り部」の活動をしている、6年N.M.さん(写真左)、5年K.A.さん(写真中)、O.A.さん(写真右)の3名です。今回は「菜根屋敷の地名の由来」「たくあん風呂」「どっこいしょ」という地域に伝わるお話を、方言・なまりも交えての風情のある語り口で披露しました。会場で聞いていた中学校の校長先生などから、「桜小の子どもたちの発表、ほんとうに素晴らしかったよ。」とたくさん声をかけていただきました。「語り部・地域・方言」などの魅力を存分に表現できた日でした。

「子ども語り部」は、地域においても積極的にボランティア活動しております。11月17日(日)には、震災以後、しばらく休止していて、今年1月に市内菜根で再開した、高齢者福祉施設「富岡町立養護老人ホーム東風荘」でも披露をする予定にしています。

福島県花いっぱいコンクールで、 桜小学校の花壇が「特選」に選ばれました



福島県全体を対象にした花いっぱいコンクールにおいて、桜小学校の花壇が、県知事賞・県教育長賞に次ぐ、特選(福島民友新聞社長賞)に選ばれました。県のレベルでも、「花のたくさんあるきれいな学校だ。」と言っていたように、とても嬉しい気持ちです。